

令和7年度まちなかラウンジ 在宅看・看連携事例検討会

～患者・家族が望む在宅療養への移行を円滑にするために
みんなで語りあいましょう。～

病院と在宅の現状と課題について双方の理解を深め、課題解決に向け検討します

令和7年

9月25日（木）18：30～20：30

方式 WEBカンファレンス（ZOOMミーティング）

内容 病院及び在宅の現状と課題について、昨年度の検討会で出された課題（情報共有・意思決定支援・介入拒否の対応）等を中心に事例を募集し、出された事例について多職種で意見交換することで、病院と在宅双方の理解を深め、課題解決を図ります。

アドバイザー

長崎市介護支援専門員連絡協議会 前会長 大町 由里
長崎県看護協会 在宅支援事業部 部長 下屋敷 元子
長崎市包括ケアまちなかラウンジ 主幹 宮地 登代子

対象 病院（看護師・MSW）・施設（看護師・介護支援専門員・社会福祉士等）・訪問看護師・介護支援専門員・社会福祉士・地域包括支援センター職員等・・・ようするに専門職ならだれでも・・・

定員 とりあえず30人（それ以上でも・・・）参加費無料

申し込み方法

9月18日までに登録サイト（<https://x.gd/4j59b>）
または二次元バーコードからお申し込みください。



固い会議ではありません。皆さんが普段悩んでいる困りごとを
みんなで話し合い解決策を探ります！お気軽にご参加ください！
困りごとの事例も募集しています。メールで送ってください。
募集先 宮地登代子 m-toyoko@galaxy.ocn.ne.jp

お問い合わせ

長崎市包括ケアまちなかラウンジ TEL：095-893-6621

E-mail：machinnaka@muse.ocn.ne.jp